

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	千尋・加茂助地区 （せんびろ・かもすけ） （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>千尋・加茂助地区は、三重県多気郡大台町の宮川上流に位置する大杉谷国有林内に位置している。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮に関する地域の要請が高いことから早急な対策が望まれている地区である。</p> <p>当地区は、平成21年10月に発生した台風18号に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、溪床には大量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、これらの要請に応えながら、山腹崩壊の拡大による不安定土砂の移動を抑止し、林道や下流域の環境省所有の休憩小屋等の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工 0.53ha ・ 主な保全対象 林道 橋梁 ・ 総事業費 45,000（千円） 		
費用対効果分析	総 便 益（B）	104,103（千円）	
	総 費 用（C）	43,269（千円）	
	分析結果（B/C）	2.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22～23年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	カンカケ地区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>カンカケ地区は、兵庫県宍粟市波賀町の引原川上流の赤西国有林内に位置している。</p> <p>当地区は平成21年8月に発生した台風9号により山腹崩壊、溪流は荒廃し、溪床には大量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>山腹の崩壊斜面では雨裂が見られ、降雨時には土砂流出が見られるなど、今後の集中豪雨等により、崩壊地の拡大、溪流の荒廃が拡大し下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、溪間工・山腹工を施工することにより、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.10ha</p> <p>・主な保全対象 林道</p> <p>・総事業費 51,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	61,216（千円）	
	総 費 用（C）	48,336（千円）	
	分析結果（B/C）	1.27	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊、溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 事業の実施により、森林の安定化が図られ水土保全機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</p> <p>・有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	予防治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	深谷地区（ふかだに） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>深谷地区は兵庫県芦屋市六麓荘町の住宅・大学に隣接する剣谷国有林内に位置している。 当地区は下層植生が乏しく表土の流出により不安定な浮石が点在しており、今後の集中豪雨等による落石発生の危険性が非常に高く、直下の住民からの落石対策の要請がある。 このため、直下の住宅等保全対象を落石被害から守るため、早急な落石防止対策を実施するものである。</p> <p>・ 主な事業内容 山腹工 1.05ha ・ 主な保全対象 人家 ・ 総事業費 13,000（千円）</p>		
費用対効果分析	<p>総 便 益（B） 129,562（千円） 総 費 用（C） 12,500（千円） 分析結果（B/C） 10.36</p>		
評価結果	<p>・ 必要性： 荒廃した林内に点在する浮石の状況から判断すると、今後の集中豪雨等により落石発生の恐れが高い。 落石防止等隣接住宅地の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</p> <p>・ 効率性： 事業の実施により、住宅地の保全が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</p> <p>・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	特定流域総合治山事業 (国有林)	事業計画期間	平成22年度～平成24年(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	草谷・大谷山地区 (くさたに・おたにやま) (兵庫県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>草谷・大谷山地区は兵庫県加古川市の北部に位置する草谷国有林・大谷山国有林内に位置している。 当地区は平成21年4月に発生した山火事により、国有林4.96ha(民有林49.0ha)の森林が焼失した箇所で、降雨等により土砂の流出等による被害が危惧される。 このため、農地・ため池・市道等の保全のために、表土流出の抑止、植栽による森林の公益的機能の早期復元を図るものである。 なお、当事業は民有林(0.70ha)と連携し、特定流域総合治山事業(防災林造成タイプ)を行うものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 4.96ha 筋工 800m 歩道新設 2,700m</p> <p>・主な保全対象 農地 市道 農道</p> <p>・総事業費 16,000 (千円)</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	38,764 (千円)	
	総費用(C)	14,544 (千円)	
	分析結果(B/C)	2.67	
評価結果	<p>・必要性: 火災により荒廃した森林の状況から判断すると、今後の集中豪雨等により表土の流出及び山腹崩壊が発生する恐れが高い。下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</p> <p>・効率性: 事業の実施により、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</p> <p>・有効性: 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22～26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	比叢地区(07) （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>比叢地区は奈良県吉野郡大淀町の吉野川の支流である比叢川の上流域にある高取山国有林内に位置し、地質の大半は花崗岩地帯であり、山腹崩壊による大量の不安定土砂が溪床に堆積している。また、降雨のたびに濁水や土砂の流出することから、地元から早期に復旧するよう要請がある。</p> <p>平成21年10月発生の台風18号に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、溪床には大量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、山腹工と溪間工を施工することにより発生源からの土砂流出抑止並びに溪床の安定と山脚固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 3基 山腹工 0.95ha 作業道 1,000m ・ 主な保全対象 人家 田 林道 ・ 総事業費 200,000（千円） 		
費用対効果分析	総 便 益（B）	282,845（千円）	
	総 費 用（C）	177,874（千円）	
	分析結果（B/C）	1.59	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊、溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	不動谷川地区 （ふどうだにかわ） （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>不動谷川地区は、和歌山県伊都郡高野町の不動谷川上流の高野山国有林内に位置しており、山腹崩壊斜面では表面浸食が継続し、荒廃が進んでいる地区である。</p> <p>平成18年の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、表面浸食が継続し不安定な状況にあり、今後の降雨等により下流域へ被害を及ぼす恐れが危惧される。</p> <p>山腹崩壊の拡大を防止し、直下の林道、町道の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るものである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工 0.14ha ・ 主な保全対象 町道 ・ 総事業費 20,000（千円） 		
費用対効果分析	総 便 益（B）	33,181（千円）	
	総 費 用（C）	19,231（千円）	
	分析結果（B/C）	1.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊を放置すれば、今後の集中豪雨等により不安定土砂の流出及び山腹崩壊が拡大する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業の実施により、森林の安定化が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	森林水環境総合整備事業 (国有林)	事業計画期間	平成22～26年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	山王谷本流地区 (さんおうだにほんりゅう) (鳥取県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>山王谷本流地区は、鳥取県鳥取市佐治町の佐治川上流の山王谷国有林内に位置している。</p> <p>過去の台風や集中豪雨による災害を復旧するために航空緑化等土砂発生源対策(192箇所9.50ha)、溪間工等土砂流出防止対策(14基)を実施したところであるが、現在でも当地区の荒廃率は0.43%と高く、今も溪流は荒廃しており、大型台風時は大量の土砂の流下が見られる。また、林地についても樹冠のうっ閉が見られ、森林が本来持っている水土保持機能が低下している。それから、当地区下流の佐治ダム(発電ダム)管理者及び鳥取県からも土砂流出防止対策の実施について、強い要望がある。</p> <p>このため、谷止工の施工により流下土砂の抑止、山脚固定を図ると共に、本数調整伐により森林の土砂流出防止機能を高度に発揮させ、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 谷止工 6基 本数調整伐 77.40ha 作業道 1,000m ・ 主な保全対象 林道 ・ 総事業費 190,000 (千円) 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 1,958,410 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 169,762 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 11.54</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性: 溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性: 事業の実施により、荒廃溪流の復旧及び森林の安定化が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性: 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22～23年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	シャクシヨフ沢地区 （しゃくしよふさわ） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>シャクシヨフ沢地区は、島根県益田市の益田川上流の明ヶ原国有林内に位置し脆弱な地質であり、山腹崩壊地には不安定土砂が堆積している地区である。平成21年7月の集中豪雨により山腹崩壊が発生した箇所であり、溪床には崩壊地から流出した不安定土砂が堆積しており、今後の降雨により、拡大崩壊や不安定土砂流出の危険が非常に高く、下流域へ被害を及ぼすことが懸念される。</p> <p>このため、山腹工と溪間工を施工することにより土砂流出の抑止並びに溪床の安定と山脚の固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 3基 山腹工 0.14ha</p> <p>・主な保全対象 林道</p> <p>・総事業費 31,500（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	51,808（千円）	
	総費用（C）	30,233（千円）	
	分析結果（B/C）	1.71	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊、溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</p> <p>・有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	予防治山事業（国有林）	事業計画期間	平成21～22年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	高鉢山4地区 （たかばちやま4） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>高鉢山3地区は島根県津和野町の高津川上流の高鉢山国有林内に位置し急峻な山地地形を呈しており、山腹には不安定な岩塊が存在する地区である。また、直下には民家等がある。</p> <p>急峻な地形に併せ、風化等により不安定な岩塊が多数あり、隣接民家等への崩落の危険が高い地区であり、早急な落石等防止対策が必要である。また、直下の民家等地域からも早急な対策の要請がある。</p> <p>このため、直下の住宅等保全対象を落石被害から守るため、早急な落石防止対策を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工 0.12ha ・ 主な保全対象 人家 市道 ・ 総事業費 85,000（千円） 		
費用対効果分析	総 便 益（B）	99,575（千円）	
	総 費 用（C）	76,358（千円）	
	分析結果（B/C）	1.30	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林内に点在する転石・浮石の状況から判断すると、今後の集中豪雨等により落石発生の恐れが高い。 落石防止等隣接住宅地の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・ 効率性： 事業の実施により、住宅地の保全が図られ保安林機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	指谷山上流地区 （ゆびたにやまじょうりゅう） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>指谷山上流地区は、広島県庄原市高野町の江の川上流の指谷山国有林内に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、溪流が荒廃し、不安定土砂の堆積、溪岸侵食が進んでいる地区である。</p> <p>平成21年7月の梅雨前線による集中豪雨により、溪床内には不安定土砂が堆積しており溪岸侵食も著しいため、今後の降雨等により下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、溪間工を施工することにより土砂流出の抑止並びに溪床の安定と山脚固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 1基 ・ 主な保全対象 林道 ・ 総事業費 12,000（千円） 		
費用対効果分析	総 便 益（B）	41,209（千円）	
	総 費 用（C）	11,538（千円）	
	分析結果（B/C）	3.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業の実施により、荒廃溪流の復旧が図られ水土保全機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	伊与谷地区（いよだに） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>伊与谷地区は、広島県庄原市口和町の江の川上流の釜ヶ峰山国有林内に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、溪流が荒廃し、不安定土砂の堆積、溪岸侵食が進んでいる地区である。</p> <p>平成21年7月の梅雨前線による集中豪雨により、溪床内には不安定土砂が堆積しており溪岸侵食も著しいため、今後の降雨等により下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、溪間工を施工することにより土砂流出の抑止並びに溪床の安定と山脚固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 1基 ・ 主な保全対象 林道 ・ 総事業費 15,000（千円） 		
費用対効果分析	<p>総 便 益（B） 47,351（千円）</p> <p>総 費 用（C） 14,423（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 3.28</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業の実施により、荒廃溪流の復旧が図られ水土保全機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成22～23年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	猿ヶ城山752う2外地区 （さるがじょうやま752う2ほか） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>猿ヶ城山752う2外地区は、広島県福山市の芦田川下流の赤滝山国有林内に位置しており、山腹崩壊地内ではガリー浸食が進み、溪床では豪雨のたびに不安定土砂の流出が見られる地区である。</p> <p>平成16年10月台風23号、平成17年の集中豪雨等により山腹崩壊が発生し、多量の不安定土砂、流木が溪床に堆積し荒廃が進んでいるため、今後の降雨等により下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、山腹工と溪間工を施工することにより発生源からの土砂流出抑止並びに溪床の安定と山脚固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基 山腹工 0.43ha</p> <p>・主な保全対象 農地 県道 林道</p> <p>・総事業費 84,800（千円）</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	161,978（千円）	
	総 費 用（C）	80,621（千円）	
	分析結果（B/C）	2.01	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊、溪流荒廃を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。</p> <p>・有効性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		